掛田自治協議会からのお知らせ
掛田の広場
第40号
2024年12月26日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長　森久保操

「力を合わせて開催した敬老会」

11月7日㈭掛田自治協議会主催で敬老会が開催されました。昨年まで掛田婦人会主催だった事業を引き継いだものです。対象は昭和25年までに生まれた75才以上の方々。又、数え年88才の方には米寿のお祝いをしました。

伊達市からと、伊達市社会福祉協議会より補助金を頂き、企画・運営は掛田自治協議会が行なうものですが、難関は名簿作りです。現代社会では個人を守るための守秘義務があり、個人の誕生日等調べるのは非常に難しいのです。そこで、募集のお知らせを各戸に配布し、自ら名乗りをあげて頂くこととしました。前準備も前掛田婦人会長さんをはじめ役員の皆様の力をお借りし一緒になって当日を迎える事ができました。

橘梁盟さんの演奏に聴き入るみなさん

◆

当日の出席者は65名。米寿の方は12名中4名の方が出席。伊達市長（佐藤吉典霊山総合支所長）様、伊達市社会福祉協議会会長木谷直人様霊山町老人クラブ連合会会長菅野康男様、掛田松寿会より5名の各会長様をご来賓にお迎えし、お祝いのことばを頂きました。

米寿者代表謝辞では、西裏の岡崎秀夫様より「私は東京で長く生活をしてきました。帰ってきたふるさとで温かく迎えて頂き、このように米寿のお祝いをして頂けた事。又、同級生やなつかしい方々にお会いできた事も、本当にうれしいです。ありがとうございました。」との心の込もったうれしいことばを頂きました。

うまか亭のおいしい折り詰め弁当と石田屋の紅白まんじゅう、記念品（緊急時ホイッスル）を手に出席された皆さんは笑顔でした。

敬老会とは、健康に年を重ねられた皆様をお祝いし、家族のため、地域のためにがんばってこられた人生の先輩方へ感謝をする事と考えます。実は、掛田自治協議会役員も着実に年を重ねて来ています。若い世代の皆さんにも掛田自治協議会の活動や事業の際は参加応援して頂けたら、うれしいです。よろしくお願い致します。

式典後の第2部では、橘梁盟様の尺八の演奏にうっとりと至福の時間を過ごしました。閉めは地元霊山太鼓の迫力ある演奏、そして盆踊りで会場いっぱいに大きな笑顔の輪が広がりました。

「とても楽しかった。」「来て良かったよ。」「今年はないのかと思ってた。」「うれしかった。」「来年も待ってるよ。」と、出席された皆さんから温かい言葉を頂きました。出席された皆様、送り出してくださったご家族様、各係を担当、運営にご協力頂いた皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

総務企画部　大友靖子

笑顔が広がる盆踊り

瑠璃色に輝く「カワセミ」

十数年前になる。小国川川沿いをよく散歩をしていた。下川原に畑があるので子供の頃からこの道は自転車や徒歩で歩くことが多く、スーっと川面を飛んでいるきれいな小鳥に出会ったのがはじめである。こんな小鳥が居るんだと目を疑いながらも気なっていたが、それが「カワセミ」であることは暫く過ぎてから知った。それからは注意して歩くと時々出会うようになり、この瑠璃色の小鳥「カワセミ」の虜になった。カメラにこの鳥の姿を残したいと思い、20年ほど前からSNSに投稿するようになった。観察を続けると、見ることができる場所、留まる場所等の習性も自然と分かるようになると益々興味のある「カワセミ」となれました。

良く撮れた時はラッキーな気分となり自己満足で楽しんでいます。春の小川の散歩もお薦めです。茶臼山の色々な小鳥ともどもお楽しみください。

掛田自治協議会
副会長　佐藤吉彦

笑顔が広がる子ども食堂おいでよ！

11月の子ども食堂「おいでよ！」はボランティアさんのご協力のもと、人気メニューの手作り煮込みハンバーグを100食分用意しました。

オープン前から長蛇の列ができ、多くの人で賑わいました。

今回は子ども食堂を応援してくださる企業様から子供たちに一足早くクリスマスプレゼントが届き、みんな大喜びでした。

「子供たちの元気な声を聞くと私も元気が出るのよ。」と笑顔で話してくださる方もいて、とても嬉しく思いました。

今後も笑顔が広がる子ども食堂を目指していきますので、どうぞお気軽にお越しください。

佐々木和子

～イベントのお知らせ～

■ **茶臼山探鳥会**
2月23日(日)　午前9時00分
会場：茶臼山駐車場
霊山中央交流館まで申し込んでください。

■ **子ども食堂**
「子ども食堂・おいでよ」（りょうぜんマルシェ実行委員会）
1月25日(土)、2月22日(土)、3月29日(土)
午前11時30分～無くなるまで
場所：霊山中央交流館
「よりそい食堂 ゆりょうぜん」
1月11日(土)、2月8日(土)、3月8日(土)
午前11時30分～13時頃
場所：みらいホールかけだ

■ **普通救命講習　心肺蘇生法対象**
（AED使用方法含む）
3月8日（土）　午前9時00分～12時00分
場所：霊山中央交流館
終了後「修了証」が発行されます。

■ **福島県・年末・年始の交通安全事故防止県民総ぐるみ運動**
令和6年12月10日（火）～令和7年1月7日（火）
＜運動の重点＞
1. 道路横断中の交通事故防止（特に高齢者の保護の推進）
2. 夕暮れ時や夜間の交通事故防止
3. 飲酒運転の根絶
4. 自転車使用時のヘルメットの着用と交通ルールの遵守
5. 全て座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

【子ども食堂開催予定】
令和7年1月25日㈯、2月22日㈯、3月29日㈯
午前11時半～
☆場　所　霊山中央交流館
☆ごはん代　大人 300円　子供（高校生まで 100円）
未就学児　無料

コラム「マイナ健康保険証」

報道などによると、長い間お医者さんで利用してきた紙の「健康保険証」の新規発行が停止になり、今後は「健康保険証」に代わってマイナンバーカードに保険証の機能を持たせた「マイナ保険証」の利用になることとなりました。ただ、今後1年ぐらいは従来の健康保険証も使えるようです。しかしマイナンバーカードを健康保険証として利用するには健康保険証利用の事前申請・登録が必要になります。

事前登録はスマホ・パソコンによる登録・セブン銀行ATMによる登録・顔認証付きカードリーダーなどからの登録が可能です。このようにして登録されたマイナカードは保険証としても手軽に便利に使えそうですが、慣れるまでは大変だと思います。昨今のIT・AIの進歩は凄いですよね。この小さなカードにいろいろな情報や機能が埋め込まれます。ますます便利になりますが悪用されること無く安全に利用したいものです。お役所の親切な説明・指導も願いたいものです。

編集後記

最近の掛田の広場を読んでみなさん気づいたことは無いでしょうか。カンナの花とか野鳥の話がよく出てきます。

子供の遊ぶ姿も学校以外では見かけることも少なく静まり返った街中。（吉幾三風に）お店も無い　飲み屋も無い　バスは一日何度来るゥ…である。そんな掛田の町をカンナの花で彩ろうとしている人がいます。カンナの花を植えて球根を増やして、育て方を教えて配布して、カンナの町「掛田」を目指しています。

次に野鳥です。野鳥の名前や鳴き声、それどころか野鳥の存在さえ興味のない方も多いのではないでしょうか。野鳥の写真展を開き、小学校の児童に野鳥を知る勉強会を行う等の活動を行っています。

掛田の夜空はとてもきれいです。夜空を見上げて星座を知ることで、季節を感じることもできます。

寂しくなった街と思うより、綺麗に手入れされた花を愛でることができる町。野鳥を知ればメジロが、シジュウカラが来てくれたと、夜空を見上げればオリオン座を見つけて冬だなぁと感じることができる穏やかな街です。

掛田の広場では、心豊かにしてくれる小さな小さな活動も紹介していきたいと考えています。

お問い合わせ先　霊山中央交流館
電話　586-1314　　FAX　586-3391
e-mail　kakedajichikyougikai@aloros.ocn.ne.jp

第52回霊山町文化祭

去る11月23日(土)、24日(日)に第52回霊山町文化祭が霊山中央交流館、霊山体育館にて開催されました。今回の文化祭は、通常の約1か月遅れとなりましたが、多くの来場者があり無事開催することができました。

23日のオープニングセレモニーでは、霊山三育認定こども園児による太鼓演奏と認定こども園神愛幼稚園児による鼓笛隊演奏が行われ、観客から大きな拍手を頂いていました。

開会式終了後、大ホールでは、各種団体による芸能発表が行われました。詩吟、合唱、舞踊、フラダンス、フォークダンス、カラオケ、手話、武術などが発表され日頃の成果を思う存分発揮され盛り上がっていました。

また、体育館では、展示発表が行われ、シルバー作品展と同時開催でしたが、日本画、陶芸、生け花、手話サークルなどの各種団体特色ある展示があり来場者を感心させておりました。

その他に協賛で、伊達地方消防組合東分署、霊山中学校、掛田小学校、小国小学校の児童生徒作品、おはなしおかあさん、りょうぜん天蚕の会の展示がありました。また、今回特別に茶臼山の野鳥の写真展示やパソコンの夕やけクラブによる写真入りのカレンダー作成は皆さんに喜ばれておりました。

年々、文化団体が減少し芸能、展示も寂しさを感じますが、皆さんに霊山町の文化を感じていただけるように活動していきたいと思っております。

今回の文化祭に共催、後援、協賛頂いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

今後共、霊山町文化団体連絡協議会へご協力よろしくお願い申し上げます。

霊山町文化団体連絡協議会会長　千葉　一則

竹生島流棒術保存会の演武

◆霊山町の老人パワー◆「シルバー作品展」

例年より1か月遅れで、11月23日(土)、24日(日)霊山体育館で、文化祭と共催で「シルバー作品展」が行われました。高齢者の皆さんが日頃作っている編み物、絵画、切り絵そして立派な大根、白菜などが会場一杯に並べられました。その数は参加人員54名、出品数322、他に団体作品13となっています。

高齢者といえどもその家では家事などの役割がありますが、その空いた時間を編み物等に頑張っています。それをこのシルバー展で発表し皆さんに見てもらうのは、大きな励みになり生きがいにもなります。ここに老人クラブの役割があるのではないかと思います。

老人クラブの会員数の減少により、出品数も減少しているのが現状ですが、今年は団体作品の充実とともに個人の作品も向上がみられているというのが、多くの皆さんの感想でした。最優秀作品の掛田第5松寿会の「藤の花」は、25人の会員が参加して制作したものです。実に2万羽の折り鶴で藤の花を表しています。伊達市長賞にふさわしい作品でした。

寒い中での開催でしたが、霊山町の高齢者の元気な姿を見ることができた心暖まるイベントでした。

霊山町老人クラブ連合会　八島　豊吉

▶伊達市長賞に輝いた作品

◆第5回映画祭◆

11月9日(土)恒例の第5回映画祭を開催致し、大変好評で午前・午後2回上映会を行い100名の方が鑑賞されました。

上映作品は『あん』で元ハンセン病患者の老女が尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に紡ぐ人間ドラマで、樹木希林さんの演技が光り、彼女が演じる徳江さんの一挙手一投足が観客の心に深く響きました。

自然の美しさと日常の中にある小さな幸せが描かれ、それがさらに映画の感動を増幅させました。

この映画『あん』を観たことで、自分自身の生き方や他人とのつながりを改めて考えさせられる時間となり映画全体のメッセージが心に深く刻まれました。

社会教育部会　小松田道雄

霊山スクールコミュニティ「ふれあいの輪広がる」

霊山スクールコミュニティセンターには地域の子どもたちが楽しく活動できるよう、卓球台や昔遊び・将棋等のコーナーを設置しています。地域ボランティアの方のご協力のもと、9月より昼休み活動サポートが本格的に始まり、毎日、センター内は笑顔と活気で溢れています。これからも子どもと大人、大人と大人のつながりの輪を広げていけるよう取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、センターには図書426冊があり、自由に閲覧することができます。児童向けのひみつシリーズや児童絵本、「効果10倍の休息法」や「ミステリー小説」など、大人も手にしたくなる本も多くあります。ぜひ、センターでホッとした時間を過ごしていただければと思います。

現在、霊山スクールコミュニティセンターでは、環境整備サポートボランティアを募集しております。学校やスクールコミュニティセンター周りの除草や花壇の手入れ等、年に1～2回程度の活動となりますので、ご協力いただける方、団体等がございましたら是非ご連絡ください。ご協力よろしくお願いいたします。

霊山スクールコミュニティセンター　齋藤　宣子

霊山SC昼休み活動サポート

はつらつ教室～移動学習～

相馬市震災復興視察研修に26名参加されました。

最初に防災備蓄倉庫（相馬兵糧蔵）に到着してガイドさんから大津波警報のもと勇敢にも最前線で避難誘導にあたり多くの人々を助け、無念にも殉職された20代の若い消防団員10名の顕彰碑が併設されていて説明を受けました。

相馬兵糧蔵 顕彰碑前にてガイドの説明を受ける

通称「相馬兵糧蔵」(相馬兵糧蔵は一般に公開されていない)に入ると、殉職した消防団員の遺影が展示されていました。

震災時には復興支援の方々が、宿泊可で炊き出しも出来る施設でした。シート、毛布、発電機などの備蓄物資を見学しながら、大規模災害時相互応援協定を結んだ地方自治体の多さにも驚きました。

車窓より磯部メガソーラー、松川浦大橋、松川浦漁業協同組合などの説明をガイドさんより受けました。

伝承鎮魂祈念館、慰霊碑の説明を受け、ビデオを見て震災の凄まじさと恐怖を感じました。その後、昼食をとり浜の駅松川浦で買い物をして、帰路に着きました。

相馬市の被害状況を知ることが出来、復興支援施設や新たな事業などの説明を受けて大変勉強になった移動学習でした。

私たちも日頃から災害時の心の備え、避難経路など家族や地域で話し合うことが改めて大切と感じました。

健康福祉部会　渡辺　隆司

掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）イルミネーション点灯式

今年もサンタさんの鈴の音が聞こえる季節になりました。11月30日に掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）恒例の点灯式を、伊達市議会議長菅野喜明さんをお招きして行ないました。

イルミネーションが点灯するとご来場いただいた皆さんからワァーッと歓声が上がり、掛田の町の中を華やかに照らしました。

千葉一則さんのトランペット演奏、トーク、くじ引きで盛り上り、楽しい時間を過すことができました。今年も多くの皆様にご来場頂きまして、ありがとうございました。

掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）は11月でオープン10周年を迎えました。皆様のご支援に心からお礼申し上げます。これからも理事、スタッフ一同、新たな気持ちで頑張ってまいります。宜しくお願い致します。

今後共、これからも。

掛田まちなかサロン Yottemi（ヨッテミ）
佐藤　ヒロ

ヨッテミ点灯式

霊山中央交流館 自衛消防訓練

9月27日(金)14時から霊山中央交流館自衛消防訓練が行われました。

この訓練は火災が発生した際に、迅速に的確な応急対策をとり、被害を最小限にするために大切な訓練です。

霊山中央交流館自衛消防訓練では、交流館に勤める職員だけでなく、今回は交流館を利用されていたJA女性部フラメイツの方々にも訓練に参加して頂きました。火災発生から消防署への火災通報、避難誘導、伊達市役所霊山総合支所への連絡を行い、伊達地方消防組合東分署署員の指導元、消火器を使用した初期消火訓練まで実施しました。

最後に伊達地方消防組合東分署署員から講評を頂き、目的通りの訓練を行うことが出来ました。

総務企画部会　佐藤　邦宏

消火訓練を受けるJAのフラメイツのみなさん

掛田小学校で行った野鳥講座

11月25日(月)掛田小学校にて小学3年生を対象にした野鳥講座を行いました。

身近な野鳥を中心に、野鳥の鳴き声を聞かせ、シルエットを見て考えるクイズ形式を採用しました。

当初、野鳥を小学校での授業にとの話に、子どもたちが野鳥に興味を持ってくれるのか、どのように伝えたら良いのかとても不安でしたが、子供たちの反応はなかなか良い感じで、よく発言もし、メモを取ってくれて野鳥の紹介が上手くいったかなと思います。

実際、掛田地域には意外とたくさんの野鳥がやって来ます。その数は軽く30種類は超えるのではないかと思います。

たくさんの種類の野鳥が掛田に住んでいる、またはやって来ていることが知ってもらえたら嬉しいです。

地域づくり部会　齋藤　全史

熱心に聞き入りメモする子ども達